

中学国語 古文講座

おくのほそ道③

《序文 その三》

基本の解説と問題



【担当講師】
秀浦 りき

8 もも引きの破れをつづり、笠の緒つけかへて、
三里に灸据ゆるより、
()



「 をしている様子



〔訳〕 もも引きの破れをつづつて、笠のひもを付け替えて、
ひぎの三里に灸を据えた頃から、

9 松島の月まづ心^⑮にかかりて、住めるかたは
() 人に譲りて、杉風が別墅に移るに、

(語句) ⑮心にかかりて 〓

⑮住めるかた 〓

〔訳〕 松島の月がまずはじめに ()

今まで () は人に譲つて、

杉風の別荘に移ると

10 ^{①9} 草の戸も 住み替はる代ぞ ^{②0} 雛 ^{ひな}の家

(語句) ①9 草の戸 || 草葺きの家
||

②0 雛 || ひな人形

〔解釈〕

このわびしい草葺きの家も住む人が変わる時節
となつたことだよ。この家にも三月の節句には、
華やかにひな人形が飾られる光景が見られるこ
とだろう。

11 面八句を庵の柱に懸け置く。

※面八句 || 俳諧の連句百句を二つ折りにした懷紙四枚に書くとき、
一枚目の表側に記す八句のこと。

〔訳〕 面八句を、庵の柱に掛けておいた。

おくのほそ道 《序文》

月日は百代の過客にして、
行きかふ年もまた旅人なり。

舟の上に生涯を浮かべ、

馬の口とらへて老いを迎ふる者は、

日々旅にして旅をすみかとする。

古人も多く旅に死せるあり。

予もいづれの年よりか、片雲の風に誘はれて、
漂泊の思いやまず、海浜にさすらへ、

去年の秋、江上の破屋にくもの古巢を払ひて、
やや年も暮れ、春立てる霞の空に、

白河の関越えむと、

そぞろ神の物につきて心を狂はせ、

道祖神の招きに会ひて取るもの手につかず。

もも引きの破れをつづり、笠の緒つけかへて、三里に
灸据ゆるより、松島の月まづ心にかかりて、住める
かたは人に譲りて、杉風が別墅に移るに、

草の戸も 住み替はる代ぞ 雛の家

面八句を庵の柱に懸け置く。

《序文その三》ポイント

8 もも引きの破れをつづり、笠の緒つけかへて、
三里に灸据ゆるより、
(え)

〔訳〕
もも引きの破れをつづって、笠のひもを付け替えて、
ひざの三里に灸を据えた頃から、

★
〔旅の準備〕
をしている様子



9 松島の月まづ^が心^(ず)にかかりて、住めるかたは
人に譲りて、杉風^のが別^{べつ}墅^{しょ}に移るに、

(語句) ①⑦心にかかりて ② 気にかかつて

③住めるかた ④ 住んでいた家 ⑤ 江上の破屋

〔訳〕
松島の月がまずはじめに(気にかかつて)、
今まで(住んでいた家)は人に譲って、
杉風の別荘に移ると

10 草の戸も^{①⑨}

住み替はる代ぞ

(わ)

(切れ字)

^{②⑩}

雛の家

ひな

二句切れ

春の季語

止め
言体

(語句) ①⑨ 草の戸 〓 草葺きの家

〓 江上の破屋

②⑩ 雛 〓 ひな人形

(住めるかた)

〔解釈〕

このわびしい草葺きの家も住む人が変わる時節
となつたことだよ。この家にも三月の節句には、
華やかにひな人形が飾られる光景が見られるこ
とだろう。

11 面八句を庵の柱に懸け置く。

※面八句 〓 俳諧の連句百句を二つ折りにした懷紙四枚に書くとき、
一枚目の表側に記す八句のこと。

〔訳〕

面八句を、庵の柱に掛けておいた。

基本問題

《基本問題》

● 次の問いに答えなさい。

(1) 次の語句の読み方を答えなさい。

①「別墅」

(2) 次の語句の意味を答えなさい。

①「つづる」

②「住めるかた」

③「別墅」

(3) 「草の戸も住み替はる代ぞ雛の家」について次の問いに答えなさい。

① 季語は何か。

② 季節はいつか。

《基本問題》 解答

● 次の問いに答えなさい。

(1) 次の語句の読み方を答えなさい。

①「別墅」

べつしょ

(2) 次の語句の意味を答えなさい。

①「つづる」

つづろ

②「住めるかた」

住んでいた家

③「別墅」

別荘(別宅)

(3) 「草の戸も住み替はる代ぞ雛の家」について次の問いに答えなさい。

① 季語は何か。

雛

② 季節はいつか。

春

応用問題

《応用問題》

- 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

月日は百代の過客にして、行きかふ年もまた旅人なり。
舟の上に生涯を浮かべ、馬の口とらへて老いを迎ふる者は、
日々旅にして旅をすみかとする。古人も多く旅に死せるあり。
予もいつれの年よりか、片雲の風に誘はれて、漂泊の
思いやまず、海浜にさすらへ、去年の秋、江上の破屋にく
もの古巢を払ひて、やや年も暮れ、春立てる霞の空に、
白河の関越えむと、そぞろ神の物につきて心を狂はせ、
道祖神の招きに会ひて取るもの手につかず。もも引きの破
れをつづり、笠の緒つけかへて、三里に灸据ゆるより、松島
の月まづ心にかかりて、住めるかたは人に譲りて、杉風が
別墅に移るに、
② 草の戸も 住み替はる代ぞ 雛の家
面八句を庵の柱に懸け置く。

- (1) aの主語を文章中から抜き出しなさい。

よくでる!

(2) ①「住めるかたは人に譲りて」とあるが、これより前の文で、作者が旅の準備をしている様子がわかる部分を三十字以内で抜き出し、はじめの五字と終わりの五字を書きなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(3) ②「草の戸」と同じ場所を指している語句を、文章中から二か所(どちらも五字)抜き出なさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

よくでる!

(4) 文章中の俳句「草の戸も住み替はる代ぞ雛の家」について、次の問いに答えなさい。

A この俳句の季語と季節を書きなさい。

季語	季節

次のページへつづく

B この俳句は何句切れか。答えなさい。

C この俳句で使われている表現技法を答えなさい。

(5) 旅の準備をした作者が、まず最初に気にかかり、見たいと思ったのは何か。文章中から抜き出しなさい。

よくでる!

(6) ア、エの「の」のはたらきの中で、一つだけ他の三つと違うものを一つ選び、記号を書きなさい。

【問題は以上で終わります】

それでは、応用問題を
がんばって解いてください。



確認・応用問題・Practiceの解答(PDF & 解説動画)は、

<http://e-clus.com/> で購入できます。



中学生向けフリー学習動画のイークルース (e-CLUS)。中学の基本問題から応用までを無料動画で学びます

e-CLUS

品 サイトマップ よくある質問 みんなの声 会員ログイン

ホーム 講座のご案内 講座の料金 教材の種類 動画を使った学習方法 運営会社 お問い合わせ

中学の基本問題・解説から応用問題まで
無料動画 で **自立学習**

中学校3年間で勉強する英語・数学・理科・社会の学習項目を、動画投稿サイトを使って基礎から応用まで無料で学習できます。
応用問題の解答が知りたくなったら有料の解答・解説動画をご利用ください。
マイペースで自立学習ができる学習サイトです。

パソコン OK! スマホ OK! タブレット OK!

英語・数学・理科・社会の学習項目を動画で配信中!

中学英語 動画をチェック!
中学数学 動画をチェック!
中学理科 動画をチェック!
中学社会 動画をチェック!
季節講座 動画をチェック!

無料動画はユーザー登録しなくても視聴できるって!

ユーザー登録 (無料) →
e-CLUSの指導方法 →
動画学習で成績がアップする理由
教科書対応表で学習範囲をチェック! →
中学英語 →



学習動画イークルース

検索

